

要請番号 (JL22424B09)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ドミニカ共和国	G102 環境教育	20～45歳のみ	個別	新規	2年	・2025/1・2025/2・ 2025/3・2026/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

経済企画開発省

2) 配属機関名 (日本語)

ヌエストロス・ペケーニョス・エルマノス寄宿学校
NGO

3) 任地 (サン・ペドロ・デ・マコリス県サン・ペドロ・デ・マコリス市) JICA事務所の所在地 (サントドミンゴ特別区)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 1.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は2003年に設立されたキリスト教の非営利団体。さまざまな複雑な家庭環境から保護された0～25歳までの子どもたちに衣食住の管理、教育(高等学校まで)、障害児の支援を提供している。施設に生活する児童約530名のうち約350名が通学している。また約130名は重度の障害を持っており、リハビリや障害に合わせたケアをしている。また、施設内には畑・ビニールハウス、廃水处理場、再生水を使った灌漑システムが整備されており、持続可能な食材の生産(20%自給自足)と水の再生が可能となっている。国内外の資金援助の他、海外から複数の短期ボランティアを受け入れている。2024年の年間予算は約143万米ドル。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

32.5万平米の敷地を持つ同配属先には児童寮(15棟)、学校、診療所、リハビリセンター、ビニールハウス、果樹園などがあり、子供たちが充実した生活を送るためのサービスを提供している。中でも環境保護と自給自足に力を入れており、再生水の有効活用のために廃水リサイクルシステム、太陽光発電ポンプ、灌漑システムなどが施設に設置されている。再生水を使って収穫したキャッサバ、バナナ、サツマイモ、食用バナナ、豆などは施設の子供や職員の食事に使われている。環境への貢献を目的とした教育にも力を入れてきたが、環境教育の担当者がいなくなり、その取り組みが停滞していった。施設内の持続可能な水とゴミの循環システムを確立させ、改めて環境教育を強化するために今回の要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

施設の同僚や学校の先生とともに以下の活動を行う。

- 1) 施設内にリサイクルプログラムの導入(分別用ごみ箱の設置やごみの分別指導)および運営の助言
- 2) 学校の「エコ・スクール・プログラム」の一環として、生徒や教員に環境教育ワークショップの実施
- 3) 子供たちの寮に持続可能な菜園の導入と運営の助言提供
- 4) 施設周辺の地域住民に対して環境教育ワークショップや研修の実施

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務機材全般、農園用具

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚

- ・代表者: 男性、60歳代、経験31年
 - ・スーパーバイザー: 女性、50歳代、経験21年
- 他職員約160名

活動対象者

地元地域住民約670名

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]: ()

[学歴]: (大卒) 備考: 同僚とのバランスのため

[性別]: () 備考:

[経験]: () 備考:

[汎用経験]:

- ・ゴミ・コンポスト等の啓発活動経験
- ・環境関連、教育、企画・運営、営業等の経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (サバナ気候) 気温: (20~34℃位)

[電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可)

[水道]: (安定)

【特記事項】

住居は配属先敷地内にあるボランティア宿舎(共同住宅)となる